

電子顕微鏡

# 鮮明画像で遠隔地に

## 阪大とKDDI、送信技術

大阪大学とKDDIは、電子顕微鏡の画像をハイビジョン映像として遠隔地にリアルタイムで送信する技術を開発した。十九日に画像を阪大からインターネットを使って米国に送信する実験をする。遠隔医療診断などに

応用可能な技術だ。

阪大のサイバーメディアセンターと超高压電子顕微鏡センター、KDDIの成果。インターネットのアドレスを飛躍的に増やせるIPV6技術を使った。高画質映像データを毎秒百メガは百万

倍の速度で送れる。

阪大、米カリフォルニア大学、ボルティモアで開催中の情報技術関連学会の会場を結んで実験する。阪大の電子顕微鏡に専用カメラを設置。阪大とカリフォルニア大で顕微鏡を操作しボルティモアに送る。

アに送る。

阪大は鮮明な顕微鏡映像を遠隔配管することで国際共同実験の進展を図る。KDDIは遠隔医療診断や高画質インターネット中継などへの応用を目指す。